

## 平成30年度熊本県国民保護共同図上訓練 の実施について

本県では、本年、ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権の開催を控え、国内外から多くの来場者が見込まれます。万一の事態に備え、危機管理対応の体制を強化する必要があることから、下記のとおり国及び熊本市と共同で図上訓練を実施します。

### 記

#### 1 日 時

2月1日（金曜日） 12時30分から16時10分まで（予定）

#### 2 訓練会場

県庁新館10階 防災センター（県プレーヤー室）  
県庁新館2階 職員研修室（対策本部会議、合同対策協議会）  
熊本市役所5階 総合調整室（熊本市プレーヤー室）  
熊本市役所5階 指揮室（対策本部会議）

#### 3 主 催

熊本県、国、熊本市

#### 4 訓練概要（想定）

ラグビーの国際試合の開催期間中に、熊本市内で国際テロ組織によるテロ事案が連続して発生（別紙「訓練想定図」参照）。県及び熊本市は、国民保護計画に基づき、直ちに緊急事態連絡本部を設置し、国、警察、消防、自衛隊等の関係機関と情報共有し、負傷者の救助や搬送など初動対応を連携して実施。その後、国において緊急対応事態として認定され、国民保護法に基づく住民避難等を実施する。

#### 5 主な訓練項目

- (1) 事案発生後の初動対応（連絡本部の設置、関係機関との連携、情報収集等）
- (2) 緊急対応事態認定後の対策本部の設置運営（本部会議の開催、警報の発令、避難の指示等）
- (3) 負傷者の搬送や住民避難の実施に向けた関係機関との調整等

#### 6 参加機関

内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、海上保安庁、防衛省、陸上自衛隊第8師団、航空自衛隊西部航空方面隊、自衛隊熊本地方協力本部、熊本県警察本部、熊本市、熊本市消防局、日本赤十字社熊本県支部、（公社）熊本県医師会、（公財）ラグビーワールドカップ2019組織委員会熊本地域支部、九州旅客鉄道株式会社、（一社）熊本県バス協会、熊本県 ほか

## 7 主な訓練スケジュール

- 12：30 熊本駅構内で大規模な爆発が発生【事案1】
- 12：35 熊本県緊急事態連絡本部を設置
- 12：45 えがお健康スタジアムで化学剤（サリンの疑い）が散布【事案2】
- 13：15 水前寺公園参道付近で爆発物が発見【事案3】
- 14：00 熊本県緊急事態連絡本部会議を開催（※仮想のため訓練では実施しません。）
- 14：15 知事臨時会見（※仮想のため訓練では実施しません。）
- 14：20 国が緊急対処事態として認定
- 14：30 熊本県緊急対処事態対策本部を設置
- 15：00 国による避難措置の指示、県から熊本市へ避難の指示
- 15：10 熊本県緊急対処事態対策本部会議を開催（知事ほか県幹部出席）
- 15：15 水前寺公園参道付近の住民避難を開始
- 15：50 国・熊本市と合同対策協議会を開催（内閣審議官、知事、熊本市長出席）
- 16：10 訓練終了・講評（内閣審議官、知事、熊本市長出席）

## 8 当日の取材対応

- (1) 当日は、12：00から新館10階エレベーターホール横で受付を行います。所属と氏名の確認を行います。
- (2) 訓練会場には取材エリアを設けます。椅子等は設けませんので、譲り合って取材してください。訓練実施中における訓練参加者への取材はお控えください。
- (3) 講評終了後（16：20予定）、知事と内閣審議官が取材対応（5分程度）を行います。
- (4) 訓練時間は進行により前後することがありますので、御了承ください。

### 【参考1】過去の国との共同訓練の実施状況

#### ○平成25年度凶上訓練

天草下島で武装グループによる連続攻撃が発生。船舶等を用いて県内外に住民避難を実施。

#### ○平成22年度実動訓練

熊本市の大規模集客施設で爆破テロの発生及び爆発物設置。

### 【参考2】国民保護法について

正式名称は「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」。武力攻撃事態等において武力攻撃から国民の生命・身体・財産を保護するため、国や地方公共団体等の責務、住民の避難に関する措置、避難住民等の救援に関する措置、武力攻撃災害への対応に関する措置及びその他の国民保護措置等に関し必要な事項を定めています。

<問合せ先>

知事公室危機管理防災課

（担当）松山、伊藤

（TEL）096-333-2112

（内線）3462、3461